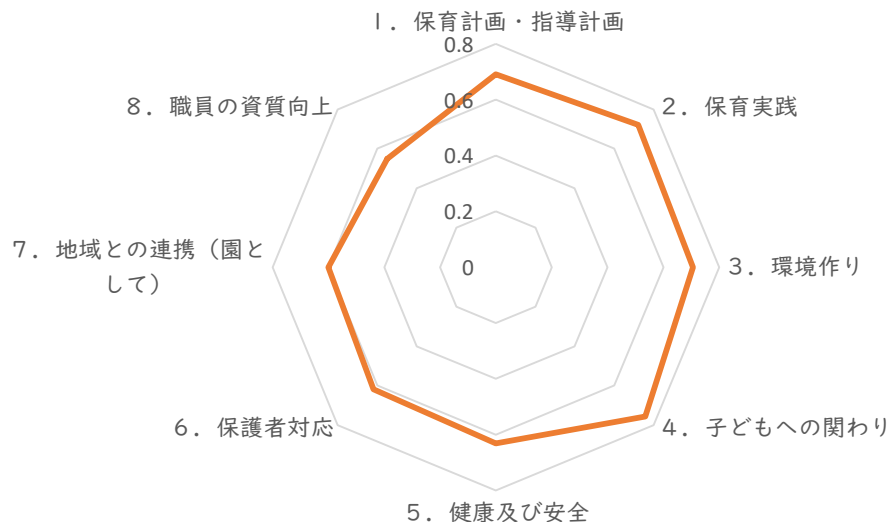


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。

大里西保育園の自己評価



【総評】

保育所保育指針の改訂を機会に制定された、稲沢市が目指す「子どもを尊重するガイドライン」を意識し、「子どもの最善の利益（幸せ）」のために、子ども一人ひとりの主体性を育てていくことができるよう、定期的に保育の見直しや改善を図り、丁寧な保育を職員皆で実践してきました。また、今年度は園として、子ども達の心を豊かにすることを目的として、地域等との交流に取り組み、様々な体験を通して、身近な人達と触れ合いながら、充実感や達成感、感動を味わうことができました。

【今後の課題】

今年度から稲沢市において、インクルーシブ保育が始まりましたが、職員間においても、お互いの多様性を尊重し合うインクルーシブな関係を深め、子ども達にとって、より良い環境を築いていきます。また、積極的に研修等に参加して学びを深め、保育に活かしていくことに努力します。

今後は、子ども一人ひとりが自分らしさを発揮できるよう、稲沢市が目指す「子どもを尊重する保育」を実現し続けるとともに、自己研鑽をして、職員の資質向上及び保育の質向上に努めていきます。



サッカーに挑戦！



職員による習字教室



大里西小学校との交流会
～1年生と一緒に魚つり～